

配 付 資 料

日 時 2017年9月2日(土) 17:00~17:45 (終了予定)
会 場 成城大学 3号館地下1階 003教室

司会 梅崎 修 研究会企画委員会委員長

— 次 第 —

1. 開会の辞
2. 議長選出
3. 事業報告
 - ・ 2016年度事業報告 . . . (資料1)
 - ・ 活動日誌 . . . (資料2)
 - ・ 奨励研究採択者の件 . . . (資料3)
 - ・ キャリア研究・政策・国際交流委員会委員長交代の件 . . . (資料4)
4. 議決事項
 - 第1号議案 2016年度中間決算承認の件 . . . (資料5)
 - 第2号議案 2017年度事業計画案の件 . . . (資料6)
 - 第3号議案 一般社団法人への移行の件 . . . (資料7)
 - 第4号議案 2017年度予算案の件 . . . (資料8)
 - 第5号議案 学会規約改定案の件 . . . (資料9)
5. 2018年度研究大会・総会の件 . . . (資料10)
6. 閉会の辞

以上

≪資料1≫ 2016年度 事業報告

1. 会員数の推移

会員は昨年より28名増加し会員数は、1,381名(昨年比102.1%)となった。

会員状況

※単位:名 (2017年7月31日現在)

会員種別	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	前年比
正会員	920	949	960	1,017	1,037	20
正会員(院生)	134	136	143	148	155	7
学生会員	24	25	23	22	21	-1
賛助会員(個人)	134	131	124	127	129	2
賛助会員(団体)	41	40	39	39	39	0
合計(人)	1,253	1,281	1,289	1,353	1,381	28

2. 当学会の問題意識と基本的な考え方

今日、学校や事業組織、政府自治体の政策などでは、キャリアデザインという言葉は広く使われるに至っているが、その意味は必ずしも統一されているわけではない。学問分野を超えた学際的な学会として、用語の整理にとどまらず、概念の深化及び実態の多角的な検討をすることなど、キャリアに関する基礎研究が今後とも必要である。

キャリアデザイン支援の有り方については、それぞれの発達段階における個々の事例研究のさらなる蓄積とともに、今後は各発達段階における支援の連続性と非連続性に着目し、あわせて各段階における多層性とその支援の多様性も視野に入れて活動する、との認識の下、諸活動を行った。

3. 今期および中期的活動計画

当学会は2014年に設立10周年を迎え、今期も15周年に向けて新たな活動に着手しつつある。すでに、10周年記念誌において、当学会として取り組んできた研究の結果、解決したものの、積み残したものは何かを明らかにし、第11回研究大会においても、その成果を踏まえた企画シンポジウムを行った。これらの成果とディスカッションを踏まえて、キャリアデザインの創造的相互作用を深化させるとともに、今後の新たな研究活動・社会的活動・地域活動の新たな発展の基礎を構築することを活動目標として、委員会活動が展開されている。

また、学会活動およびそのサービスのさらなる発展と向上のため、様々な観点から学会運営のあり方を再点検し、より充実した効率的な学会活動を実現するための施策を展開した。

4. 研究組織委員会活動

脇坂明新会長の当期方針の通り、新たな10年後を見据えた学会の方向性、学会スローガンを検討し、キャリアデザインに関する学術的研究の方向性および方針を総合的に検討した。また、学会の持続的発展を目指し、多面的な視野で学会の課題解決に着手した。

(1)研究組織委員会の活動

以下のとおり、各委員長を中心として委員会活動を推進した。

①研究組織委員会

玄田有史委員長のもと、研究組織委員会では、2017年1月9日開催の常務理事会における学会の法人化移行の検討を開始するという決定を受け、会長の指示のもとに検討に着手した。

検討を通じ、会員拡充などを通じた組織のさらなる発展および各種政策の提言など、より幅広い活動を今後実施可能とするには、学会に対する社会的信用の強化が必要であり、そのためには学会を機能的に運営する新たな組織体制の整備が必要という点で、委員会の見解の一致を得た。その結果、学会が15周年を迎えることを一つの契機とし、

第 14 回研究大会内の総会において日本キャリアデザイン学会の一般社団法人への移行を提案することが望ましいとの中間報告を、同年 7 月 1 日開催の常務理事会にて行った。

②研究大会企画委員会

青木猛正委員長のもと、第 14 回研究大会の大会テーマ、基本方針を受け、自由研究発表の募集、主催校企画、特別講演、シンポジウムの検討、プログラムの策定、司会者・コメンテーターを決定し、大会の運営を行った。

また、学会奨励研究の要項を作成し、学会ホームページで募集を行い 5 件採択した。

③研究会企画委員会

梅崎修委員長のもと、2014 年度から開始した会場と一体感があり臨場感のある「キャリア・デザイン・ライブ！」を金曜夜に全 5 回、土曜日の特別研究会を全 2 回、また名古屋での出張ライブ 1 回を実施し、ニューズレターにおいても会場の臨場感が伝わる報告が紹介された。毎回定員数を超える申し込みがあり非会員の参加も多く会員獲得にも繋がっている。

④研究誌編集委員会

児美川孝一郎委員長のもと、各編集委員のご尽力により、研究誌『キャリアデザイン研究 Vol.13』の編集作業を進めている。発行予定は 9 月末日であり、現時点（8 月 8 日現在）での進捗状況は、投稿数 37 件、掲載決定 6 件、査読中 10 件、不採択 18 件、辞退 3 件である。

⑤広報委員会

内田勝久委員長のもと、キャリアデザイン・ニューズレターおよびキャリアデザインマガジンを定期発行、本学会ホームページに「私のキャリアデザイン」を掲載した。会員向けの情報発信強化、および新規会員の獲得を目的として、ソーシャルメディアの活用により「キャリア・デザイン・ライブ！」など訴求効果の高い学会活動を紹介している。

また、企業参加者との情報交換会を 7 月に開催し、学会活動に対するニーズをヒアリングした。

⑥キャリア研究・政策・国際交流委員会

10 年という長期のビジョンで、キャリアデザイン学会の研究の方向性を考えることを主目的として、「OJT に焦点をあてた人材育成とキャリア形成」をテーマに活動してきたが、2016 年度には脇坂明委員長から武石恵美子委員長に代わり、6 名の委員会を構成した。15 周年を一つの区切りとして研究を発信していくことについての検討を行っている。

⑦15 周年記念事業委員会

末廣啓子委員長のもと、学会設立 15 周年記念事業の実施に向けて、委員会メンバーの決定等体制の整備を図り、学会全体の状況と関係委員会の活動の方向を踏まえつつ記念事業の検討を開始することとした。

(2) 地域活動

各支部長と連携を図りながら各支部主催の研究会を開催した。

① 関西支部

松高政支部長のもと、支部役員会を2回開催し、第7回支部研究大会、第20回支部研究会を開催した。

② 中京支部

金井篤子支部長のもと、2回の中京支部研究会およびキャリアデザインライブを開催した。また、2016年9月には中京地区における初めての大会開催ということで、愛知教育大学（高綱睦美実行委員長）における第13回大会の開催に協力した。

5. その他の活動

① 研究組織委員会の強化

2014年度から組織化した研究組織委員会を各委員会の上位組織と位置づけ、年度方針、学会運営方針（一般社団法人化に向けた調査・研究・検討や、制度改革の可能性等今後の学会の方向性）について議論を重ねた。

② 自主研究の支援

会員の研究奨励のため、奨励研究の公募を継続して実施し、5件採択し研究大会での発表、『キャリアデザイン研究 Vol.13』への掲載を実施し、若手研究者への研究助成を実施した。

③ 他学会等との連携

日本産業カウンセリング学会第22回大会の後援、日本経済学会と情報交換会を実施した。

④ キャリア・デザイン・ライブの地方開催

2014年度から開始したキャリア・デザイン・ライブ！を中京地区にて特別研究会としてオリンピック・ショートトラック日本代表コーチ寺尾悟氏をお招きし開催した。

⑤ 企業等所属会員との相互交流会・勉強会の実施

10年ビジョンのシンポジウムの方向性を軸に、第1回企業等所属会員の相互交流・勉強会を実施した。

6. 決算

研究会企画委員会による「キャリア・デザイン・ライブ！」や中京地区での地方開催などによる非会員の方々の参加や会員増加による会費収入の増加や旅費交通費の経費節減に努め、単年度収支の改善を図り、研究助成金・15周年記念大会委員会事業費の積み立てに寄与した。

以上

《資料2》 活動日誌

行事等	日付	主な内容	場所
研究大会	2016年9月10日(土)、11日(日)	第13回研究大会 『豊かなキャリアのための「学びの場」の創造 ～人づくりのこれから～』 特別講演： 「ライフネット生命における人づくり」 岩瀬大輔氏(ライフネット生命保険株式会社 代表取締役社長) 主催校企画シンポジウム： 『豊かなキャリアのための「学びの場」の創造 ～人づくりのこれから～』 林 牧子氏(愛知教育大学幼児教育講座) 京免徹雄氏(愛知教育大学学校教育講座) 清水克博氏(名古屋市立香流中学校) 小林恭子氏(日進西高等学校) 司会・コーディネーター：金井篤子氏(名古屋大学)	国立大学 法人愛知 教育大学
理事会	2016年9月10日(土)	2015年度第2回理事会・2016年度第1回理事会 －役員人事 －2015年度事業報告、活動日誌、2015年度中間決算 －2016年度活動計画、2016年度予算 －理事会が常務理事会に委任する業務等について	国立大学 法人愛知 教育大学
常務理事会	2016年9月10日(土)	2015年度第5回常務理事会 －理事会が常務理事会に委任する業務等について	国立大学 法人愛知 教育大学
ニュー スレタ ー	2016年9月15日(木)	キャリアデザイン・ニューズレター 第144号	
ニュー スレタ ー	2016年10月17日(月)	キャリアデザイン・ニューズレター 第145号	
メール マガジ ン	2016年10月19日(水)	キャリアデザインマガジン128号	
研究会 企画委 員会	2016年10月21日(金)	第1回研究会企画委員会 －2016年度研究会(キャリア・デザイン・ライブ)について	法政大学 市ヶ谷キ ャンパス

行事等	日付	主な内容	場所
関西支部	2016年11月6日(日)	<p>第7回関西支部研究大会</p> <p>(1) 高澤陽二郎氏(新潟大学)・浜島幸司氏(同志社大学)・西條秀俊氏(新潟大学) 「大学初年次生におけるインターンシップ参加行動への動機づけ要因」</p> <p>(2) 松永公廣氏・江利川良枝氏(名古屋学院大学)・鴨谷真知子氏(東大阪大学短期大学部) 「就活スタートアップのための自己探求システムの開発と実践」</p> <p>(3) 井上珠郁氏(兵庫県立東灘高等学校) 「生徒の夢をかたちにするキャリア教育の推進－3年間の取組と効果の検証－」</p> <p>(4) 絹田昌代氏(岡山県立倉敷南高等学校) 「普通科進学校による地域プロジェクト学習の成果の検証と展開の工夫 －アクティブラーニングによる組織的な教師の指導力向上の取り組み－」</p>	関西大学 (千里山キャンパス第三学舎4号館)
ニュースレター	2016年11月15日(火)	キャリアデザイン・ニュースレター 第146号	
研究会	2016年11月18日(金)	<p>第68回研究会</p> <p>「キャリア・デザイン・ライブ! 第4回」</p> <p>テーマ: 「これからのキャリア開発」</p> <p>講師: 武石恵美子氏(法政大学キャリアデザイン学部教授)</p> <p>コーディネーター: 玄田有史氏(東京大学社会科学研究所) 梅崎修氏(法政大学)</p>	法政大学市ヶ谷キャンパス
研究会	2016年12月10日(土)	<p>第69回研究会</p> <p>「キャリア・デザイン・ライブ! 冬のスペシャル」</p> <p>テーマ: 「働く人の選択肢がもっと多様になる時代へ」</p> <p>講師: 米倉史夏氏(株式会社Waris代表取締役/Co-Founder) 松原光代氏(学習院大学特別客員教授)</p> <p>コーディネーター: 玄田有史氏(東京大学社会科学研究所)</p>	産業能率大学自由が丘キャンパス
メールマガジン	2016年12月10日(土)	キャリアデザインマガジン 129号	

行事等	日付	主な内容	場所
研究大会企画委員会	2016年12月11日(日)	第1回研究大会企画委員会 - 第14回大会テーマについて - 自由研究発表、ポスター発表、奨励研究について	日本経済大学渋谷キャンパス
広報委員会	2016年12月13日(火)	第1回広報委員会 - ニュースレター巻頭言について - ustream 配信について - 会員名簿の情報開示について - 企業等所属会員との相互交流・勉強会の実施について	産業能率大学自由が丘キャンパス
ニュースレター	2016年12月15日(木)	キャリアデザイン・ニュースレター 第147号	
常務理事会	2017年1月9日(月)	第1回常務理事会 - 第14回大会テーマについて - 第15回研究大会会場について - 会員への送付書式の変更について	学習院大学 東2号館
常務理事会・研究組織委員会合同会議	2017年1月9日(月)	第1回常務理事会・研究組織委員会合同会議 - 2016年度方針について - 第14回研究大会関係 - 一般社団法人化について - 研究組織委員会報告	学習院大学 東2号館
研究組織委員会	2017年1月9日(月)	第1回研究組織委員会 - 一般社団法人化プロジェクトについて - 他学会の状況について	学習院大学 東2号館
ニュースレター	2017年1月16日(月)	キャリアデザイン・ニュースレター 第148号	
メールマガジン	2017年2月8日(水)	キャリアデザインマガジン 130号	
ニュースレター	2017年2月15日(水)	キャリアデザイン・ニュースレター 第149号	
研究大会企画委員会	2017年2月19日(日)	第2回研究大会企画委員会 - 第14回研究大会プログラムについて	成城大学 1号館 キャリアセンター
研究誌編集委員会	2017年2月20日(月)	第1回研究誌編集委員会 - 研究誌(Vol.13)の編集、今後のスケジュールについて、その他	法政大学

行事等	日付	主な内容	場所
中京支部	2017年3月4日(土)	第9回中京支部研究会 テーマ:「障がい者の学びの場」 講師:有村秀一氏(トヨタグループ株式会社取締役社長)	名古屋大学教育学部 2階 第3講義室
常務理事会	2017年3月12日(日)	第2回常務理事会 - 第14回研究大会プログラムについて、会員の資格失効猶予期間について、研究誌運用細則変更について、本学会の今後の方向性について、その他	成城大学 3号館 小会議室
ニューズレター	2017年3月15日(水)	キャリアデザイン・ニュースレター 第150号	
研究会	2017年3月17日(金)	第70回研究会 「キャリア・デザイン・ライブ! 第1回」 テーマ:「奇跡の企業組合、生業の里 - 還暦を超えたお母さん達の挑戦 -」 講師:中嶋哲夫氏(人事教育コンサルタント、 MBO 実践支援センター代表) コーディネーター:玄田有史氏(東京大学社会科学研究所) 梅崎修氏(法政大学)	法政大学 市ヶ谷キャンパス
メールマガジン	2017年4月13日(木)	キャリアデザインマガジン 131号	
研究組織委員会小委員会	2017年4月14日(金)	第1回研究組織委員会小委員会 - 日本経済学会一般社団法人化経緯について - 今後のスキーム、懸案事項について	日本経済学会事務所
ニューズレター	2017年4月17日(月)	キャリアデザイン・ニュースレター 第151号	
研究会	2017年4月21日(金)	第71回研究会 「キャリア・デザイン・ライブ! 第2回」 テーマ:「楽しみながらキャリアを学ぶ ~こどもが主役の街「キッザニア」をライブする~ 講師:米田英史氏(「キッザニア東京」事業部 営業部 営業グループマネージャー) 浅野目健太氏(「キッザニア東京」事業部 営業部 予約・顧客管理グループ アシスタント・マネージャー) コーディネーター:山田智之氏(上越教育大学)	キッザニア東京

行事等	日付	主な内容	場所
ニュー ステ ター	2017年5月15 日(月)	キャリアデザイン・ニューズレター 第152号	
研究会	2017年5月19 日(金)	第72回研究会 「キャリア・デザイン・ライブ!第3回」 テーマ:「LGBTについて知る。 そして変えることは何かを考える」 講師:梅田恵氏(日本アイ・ビー・エム株式会社 人事ダイバーシティ企画 部長) コーディネーター:梅崎修氏(法政大学)	明治大学 駿河台キ ャンパス リバティ タワー9 階
関西支 部	2017年5月27 日(土)	第20回関西支部研究会 テーマ「これからの働き方とキャリア開発支援のあり方 ～イクボスプロジェクトを通じて～」 報告:安藤哲也氏(NPO法人ファザーリングジャパン 代表理事) 西浦けい子氏(株式会社マンダム 人事部ダイバーシティ推進室室長) 蒋伊蒙氏(積水化学工業株式会社 人事部人材開発グループ) コメンテーター:川崎友嗣氏(関西大学)	公益財団 法人関西 生産性本 部 会議 室
中京支 部	2017年5月27 日(土)	第10回中京支部研究会 テーマ「がん患者の就労支援」 報告:服部文氏(一般社団法人仕事と治療の両立支援ネッ ト-ブリッジ代表理事)	名古屋大 学教育学 部2階第 3講義室
メール マガジ ン	2017年6月13 日(火)	キャリアデザインマガジン132号	
ニュー ステ ター	2017年6月16 日(金)	キャリアデザイン・ニューズレター 第153号	
研究会	2017年6月16 日(金)	第73回研究会 「キャリア・デザイン・ライブ!第4回」 テーマ「ひきこもり支援における多元主義の可能性」 講師:斎藤環氏(筑波大学 医学医療系 社会精神保健学 教授) コーディネーター:玄田有史氏(東京大学社会科学研究所) 梅崎修氏(法政大学)	法政大学 市ヶ谷キ ャンパス

行事等	日付	主な内容	場所
常務理事会	2017年7月1日(土)	第3回常務理事会 －第14回研究大会プログラムについて、賛助会員加入について、一般社団法人化について、その他	学習院大学 東2号館
常務理事会・研究組織委員会合同会議	2017年7月1日(土)	第2回常務理事会・研究組織委員会合同会議 －第14回研究大会関係、自由投稿者の選考結果について、研究組織委員会報告、その他	学習院大学 東2号館
研究大会企画委員会小委員会	2017年7月1日(土)	第1回研究大会企画委員会小委員会 －第14回研究大会主宰校特別企画、その他	学習院大学 東2号館
中京支部	2017年7月2日(日)	第11回中京支部研究会 キャリア・デザイン・ライブ名古屋開催 テーマ「アスリートのキャリアデザイン」 講師：寺尾悟氏（オリンピック・ショートトラック 日本代表コーチ トヨタ自動車株式会社） コーディネーター：玄田有史氏（東京大学社会科学研究所） 荒井明氏（産業能率大学）	愛知県産業労働センター
研究会	2017年7月8日(土)	第74回研究会 キャリア・デザイン・ライブ！夏のスペシャル テーマ「女性蔵人に聴く日本酒造りとキャリア」 講師：工藤恵美子氏（（資）川西屋酒造店） コーディネーター：玄田有史氏（東京大学社会科学研究所） 梅崎修氏（法政大学）	法政大学市ヶ谷キャンパス 58年館 2階
広報委員会小委員会	2017年7月10日(月)	第1回広報委員会小委員会 －企業等所属会員との相互交流・勉強会の実施について	産業能率大学自由が丘キャンパス
ニューズレター	2017年7月14日(金)	キャリアデザイン・ニューズレター 第154号	
事務局	2017年7月15日(土)	第14回研究大会主宰校との打ち合わせ	成城大学 3号館 小会議室

行事等	日付	主な内容	場所
メールマガジン	2017年8月15日(火)	キャリアデザインマガジン 133号	
ニューズレター	2017年8月15日(火)	キャリアデザイン・ニューズレター 第154号	
常務理事会	2017年8月20日(日)	第4回常務理事会 第14回研究大会・総会について(事業報告案、中間決算、事業計画、予算案)、委員会報告、一般社団法人化等	学習院大学 東2号館

◀資料3▶ 奨励研究採択者の件

日本キャリアデザイン学会 奨励研究募集結果について

- ◆奨励金 1 件につき 10 万円
- ◆採択件数 上限 5 件とする
- ◆審査機関 研究組織委員会、及び 研究大会企画委員会
- ◆研究期間 2017 年 9 月から

(*採択者の義務 採択者は、第 15 回研究大会での発表, および『キャリアデザイン研究』Vol. 14 への報告を行うこととする。)

会員番号	氏名	研究主題
C160081	森永 武人氏	「キャリア教育における生徒の内発的動機に関する研究」
C160030	渡部 昌平氏	「効果的なナラティブ・キャリア・カウンセリングの教授・研修方法に関する研究」
C050118	胡田 裕教氏	「高校普通科におけるキャリア発達を促す授業のプログラム開発に関する研究」
C160042	林 亜美氏	「職業訓練によるキャリア形成と生活の質の変化」

以上 4 件の採択を決定いたしましたことをご報告いたします。

研究大会企画委員会 委員長 青木猛正

《資料4》 キャリア研究・政策・国際交流委員会委員長交代の件

学会規約
(委員会及び支部)

第18条

本会に必要な応じ委員会及び支部を置くことができる。

2 委員会及び支部に関する事項は、常務理事会において定める。

【キャリア研究・政策・国際交流委員会】

委員長	武石 恵美子	法政大学
副委員長	佐藤 厚	法政大学

↓

【キャリア研究・政策・国際交流委員会】

委員長	佐藤 厚	法政大学
副委員長	武石 恵美子	法政大学

任期は2018年総会までとする。

《資料5》 2016年度中間決算承認の件

日本キャリアデザイン学会 2016年度決算書

貸借対照表

2017年7月31日現在

資産・負債別/科目		金額	備考
資産の部	流動資産	現金	72,271
		普通本口（三菱東京UFJ）	10,935,394
		普通大会口（三菱東京UFJ）	411,001
		普通関西大会口	176,937
		郵便貯金	78,977
		普通中京支部	36,040
		売掛金	0
		前払費用	0
		仮払金	0
		流動資産合計	11,710,620
資産合計		11,710,620	
負債の部	流動負債	未払金	0
		前受金	0
		預り金	19,329
		流動負債合計	19,329
負債合計		19,329	
正味財産の部		11,691,291	
(うち当期収支差額)		4,890,433	
負債及び正味財産合計		11,710,620	

日本キャリアデザイン学会 2016年度 (中間)

収支計算書

2016年10月1日～2017年7月31日

(単位:円)

科目別	決算 (2017.7.31現在)	予測(2017.8.1~ 9.30)	最終決算 決算見込み	2016年度予算	差額
I. 収入の部					
会費収入	9,785,550	214,450	10,000,000	10,500,000	-500,000
大会会費収入	411,000	889,000	1,300,000	1,300,000	0
研究会参加費収入	106,000	0	106,000	200,000	-94,000
研究誌等販売収入	223,580	6,420	230,000	200,000	30,000
関西支部収入	102,000	0	102,000	200,000	-98,000
中京支部収入	9,000	0	9,000	30,000	-21,000
地域活動収入	21,000	0	21,000	20,000	1,000
協賛金収入	194,800	500,000	694,800	0	694,800
その他事業収入	0	0	0	0	0
受取利息	27	473	500	500	0
雑収入(印税他)	0	0	0	0	0
当期収入計(A)	10,852,957	1,610,343	12,463,300	12,450,500	12,800
前期繰越資金	6,800,858		6,800,858	5,191,973	1,608,885
収入合計(B)	17,653,815	1,610,343	19,264,158	17,642,473	1,621,685

科目別	決算 (2017.7.31現在)	予測(2017.8.1~ 9.30)	最終決算 決算見込み	2016年度予算	差額	備考
II. 支出の部						
大会関連支出	0	2,400,000	2,400,000	2,400,000	0	
関西支部支出	144,000	0	144,000	200,000	-56,000	
中京支部支出	49,460	0	49,460	50,000	-540	施設使用料、支部懇親会費等
地域活動費	128,880	0	128,880	150,000	-21,120	
業務委託費	2,484,000	475,200	2,959,200	2,740,000	219,200	事務局委託費、コンサルティング料等
研究会費(広告宣伝費)	68,637	0	68,637	100,000	-31,363	研究会懇親会費他
旅費交通費	120,680	100,000	220,680	650,000	-429,320	理事会、研究会等交通費
通信費・運賃	657,128	650,200	1,307,328	1,400,000	-92,672	ホームページ管理等 メール配信、会員への送付
謝礼金	271,603	100,000	371,603	400,000	-28,397	研究会講師謝金、アルバイト代
会合費	0	50,000	50,000	100,000	-50,000	
消耗品費	1,242	150,000	151,242	200,000	-48,758	FAXインクリボン
印刷費	1,804,765	50,000	1,854,765	1,770,000	84,765	研究誌vol.12、学科パンフレット等 印刷代
租税公課	0	30,000	30,000	0	30,000	
支払手数料	182,129	117,871	300,000	300,000	0	銀行振込手数料、口座引き落とし手数料
諸会費	50,000	90,000	140,000	90,000	50,000	中央職業能力開発協会、学術団体費 助会費
研究助成金	0	400,000	400,000	500,000	-100,000	
15周年記念大会委員会事業費	0	500,000	500,000	500,000	0	15周年に向けた積立(50万円×4年)
予備費・雑費	0	0	0	250,000	-250,000	
当期支出計(C)	5,962,524	5,113,271	11,075,795	11,800,000	-724,205	
当期収支差額(A)-(C)	4,890,433		1,387,505	650,500	737,005	
次期繰越資金(B)-(C)	11,691,291		8,188,363	5,842,473	2,345,890	

《資料6》 2017年度事業計画案の件

1. 当学会の問題意識と基本的な考え方

今日、学校や事業組織、政府自治体の政策などでは、キャリアデザインという言葉は広く使われるに至っているが、その意味は必ずしも統一されているわけではない。学問分野を超えた学際的な学会として、またアカデミックな現場実務との相互交流及び相互作用を重視する学会としては、用語の整理だけにとどまらない、それ以上のことを目指したい。概念の整理・深化及び現場実態の多角的な検討やその理論的解釈など、キャリアに関する基礎研究が今後とも必要である。

キャリアデザイン支援の有り方については、それぞれの発達段階における個々の事例研究のさらなる蓄積とともに、今後は各発達段階における支援の連続性と非連続性に着目し、あわせて各段階における多層性とその支援の多様性も視野に入れて活動する、との認識の下、諸活動を行いたい。

2. 今期および中期的活動計画

当学会は2014年に設立10周年を迎え、今期も15周年に向けて新たな活動に着手しつつある。すでに、10周年記念誌において、当学会として取り組んできた研究の結果、解決したものの、積み残したものは何かを明らかにし、第11回研究大会においても、その成果を踏まえた企画シンポジウムを行った。

これらの成果とディスカッションを踏まえて、キャリアデザインの創造的相互作用を深化させるとともに、今後の新たな研究活動・社会的活動・地域活動の新たな発展の基礎を構築することを活動目標として、委員会活動が展開されてきたが、今後も15周年にむけて続けていきたい。

また、学会活動およびそのサービスのさらなる発展と向上のため、様々な観点から学会運営のあり方を再点検し、より充実した効率的な学会活動を実現するための施策を展開したい。

(1)研究組織委員会の活動

各委員長を中心に、諸活動を推進する。

①研究組織委員会

前年度に引き続き、学会としてのキャリアデザインに関する学術的研究の方向性および方針を総合的に検討する。あわせて学会の持続的発展を可能とするために、研究組織全体の効率的運営に向けた検討も行う。

②研究大会企画委員会

第15回研究大会（関西大学）の大会テーマ、基本方針の決定、自由研究発表の募集、大会企画の検討、及び当日の運営を行う。また、学会奨励研究の要項の作成、募集、及び奨励研究の採択を行う。

③研究会企画委員会

2017年度も2014年度から開始したキャリア・デザイン・ライブ！を継続する。キャリア教育、労働問題などできるだけ幅広いテーマを選び、10-12月に全3回を実施する予定。また、東京以外における出前ライブを2018年春に実施する予定である。

④研究誌編集委員会

2017年12月1日から2018年1月10日まで投稿を受け付け、研究誌Vol.14を発行する。なお、投稿数の増加により、現在、編集委員会での査読・編集作業および査読を依頼する会員への負担が増えている。次号に向けて、簡素化の方向で査読プロセスの見直しを行う予定である。また、研究誌の電子媒体化、J-STAGEや学会ホームページでの公開についても、引き続き検討していく。

⑤広報委員会

キャリアデザイン・ニュースレター及びキャリアデザインマガジンを定期発行する。学会ホームページ「私のキャリアデザイン」は、四半期ごとに掲載、ソーシャルメディア（以下、SNS）の活用による学会活動の情報発信は適宜行う。企業参加者との情報交換会を定期的に行い、新しい会員サービスや活動を検討する。

⑥キャリア研究・政策・国際交流委員会

委員会での議論と8月のシンポジウム、そして9月学会での中間報告をふまえ、OJTについて議論の中身を深め、OJTとその他のキャリア関連のテーマにも広げていく。できるだけ公開の場で発表と討論を行い、将来の学会における研究の方向を提言していきたい。

⑦15周年記念事業委員会

15周年（2019年度）の記念事業に関して、キャリア研究・政策・国際交流委員会、研究会企画委員会等の関係委員会と連携しつつ、具体的な記念事業について検討を進め、方向性を決定する。

(2) 地域活動

各支部長と連携を図りながら各支部主催の研究会の推進、地域の会員との交流会を開催する。

①関西支部

年2回の研究会、年1回の研究大会を開催する。

②中京支部

年3回の中京支部研究会を開催する。

③その他の地域

各地区での交流会の積極的な推進を検討している。

3. その他の活動

会員へのサービス向上につながる施策を打ち出し、積極的な参加の促進と新規会員の獲得に努める。役員と会員の協働によって諸活動を推進していきたい。

①研究組織委員会の強化

2014年度から組織化した研究組織委員会を各委員会の上位組織と位置づけ、年度方針、学会運営方針について検討する。また、新たに法人化準備検討委員会を設置し学会運営のあり方を再点検し、より充実した効率的な学会活動を実現する。

②自主研究の支援

会員の研究奨励のため、奨励研究の公募を引き続き継続して実施していく。

③キャリア・デザイン・ライブの地方開催

キャリア・デザイン・ライブ！の地特別研究会を名古屋に引き続き他地区においての開催を検討する。

④企業等所属会員との相互交流会・勉強の実施

10年ビジョンのシンポジウムの方向性を軸に、企業等所属会員の相互交流や勉強の機会を設けることを検討する。

《資料 7》 一般社団法人への移行の件

平成 29 年 9 月 2 日

日本キャリアデザイン学会
会員各位

日本キャリアデザイン学会の一般社団法人への移行に関する提案

日本キャリアデザイン学会
会長 脇坂 明

日本キャリアデザイン学会では、今後 10 年間の研究活動・社会的活動・地域活動の新たな発展の基礎を構築することを活動目標とするという中期的活動計画を踏まえ、学会の法人化移行に関する検討を、2016 年度の常務理事会にて行ってきた。

検討の過程では、法人移行化に関する論点整理、学会の財務状況の確認や会員の現状や今後の予測の他、一般社団法人に移行した他学会へのヒアリングや資料収集などの多角的検討を研究組織委員会に対して要請した。

検討を通じ、会員拡充などを通じた組織のさらなる発展および各種政策の提言など、より幅広い活動を今後実施可能とするには、学会に対する社会的信用の強化と、学会をより適切かつ機能的に運営する新たな組織体制が必要であり、そのためには学会を機能的に運営する新たな組織体制の整備が必要という報告が研究組織委員会より常務理事会に対してなされたところである。

以上の報告を踏まえ、常務理事会にて慎重な検討を行った結果、2019 年度に学会が 15 周年を迎えることを契機に、今夏開催される第 14 回研究大会内の総会にて日本キャリアデザイン学会の一般社団法人への移行を会員に対して提案することが望ましいとの結論を得た。

つきましては、以下の提案について、ご審議いただきたくお願い申し上げたい。

議案

1. 日本キャリアデザイン学会を 2019 年度に一般社団法人へと移行する。
2. 一般社団法人化への移行に向け、法人化準備検討委員会を設置する。
3. 法人化準備検討委員会委員は、会員から複数名を会長が指名する。
4. 法人化準備検討委員会の検討を踏まえ、一般社団法人日本キャリアデザイン学会に関する定款案文を作成し、第 15 回研究大会総会にて諮る。

以上

《資料 8》 2017 年度予算案の件

日本キャリアデザイン学会 2017年度予算 (案)

収支計算書

2017年10月1日～2018年9月30日

(単位:円)

科目別	2017年度予算	2016年度予算	2016年度 決算見込み	差額 (2017年度予算- 2016年度決算 見込み)
I. 収入の部				
会費収入	10,000,000	10,500,000	10,000,000	0
大会会費収入	1,200,000	1,300,000	1,300,000	-100,000
研究会参加費収入	150,000	200,000	106,000	44,000
研究誌等販売収入	200,000	200,000	230,000	-30,000
関西支部収入	150,000	200,000	102,000	48,000
中京支部収入	30,000	30,000	9,000	21,000
地域活動収入	20,000	20,000	21,000	-1,000
協賛金収入	0	0	694,800	-694,800
その他事業収入	0	0	0	0
受取利息	500	500	500	0
雑収入 (印税他)	0	0	0	0
当期収入計 (A)	11,750,500	12,450,500	12,463,300	-712,800
前期繰越資金	8,188,363	5,191,973	6,800,858	1,387,505
収入合計 (B)	19,938,863	17,642,473	19,264,158	674,705

科目別	2017年度予算	2016年度予算	2016年度決算 決算見込み	差額 (2017年度予算- 2016年度決算 見込み)	備考
II. 支出の部					
大会関連支出	2,500,000	2,400,000	2,400,000	100,000	2016年度は、14回大会分。運営費(350千)
関西支部支出	150,000	200,000	144,000	6,000	
中京支部支出	50,000	50,000	49,460	540	
地域活動費	150,000	150,000	128,880	21,120	キャリア・デザイン・ライブ地方出張ライブ
業務委託費	2,959,200	2,740,000	2,959,200	0	事務局委託費2,640千(+60万円)
研究会費 (広告宣伝費)	100,000	100,000	68,637	31,363	
旅費交通費	500,000	650,000	220,680	279,320	理事会、委員会等交通費、主宰校打ち合わせ
通信費・運賃	1,500,000	1,400,000	1,307,328	192,672	ホームページ維持費(400千)、ニュースレター(200千)、会員への送付、選挙
諸謝金	400,000	400,000	371,603	28,397	研究会講師謝金、テープ起こし
会合費	100,000	100,000	50,000	50,000	施設(会議室) 使用料
消耗品費	200,000	200,000	151,242	48,758	封筒等
印刷費	1,920,000	1,770,000	1,854,765	65,235	研究誌Vol.13発行分(1,620千)+封筒代(150千)、選挙(150千)
租税公課	0	0	30,000	-30,000	2015年度 商標登録印紙代
支払手数料	300,000	300,000	300,000	0	銀行振込手数料、口座引き落とし手数料
諸会費	140,000	90,000	140,000	0	中央職業能力開発研究会年会費、学術団体賛助会費
研究助成金	500,000	500,000	400,000	100,000	奨励研究
15回記念大会委員会事業費	500,000	500,000	500,000	0	15周年に向けた積立(50万円×4年)
予備費・雑費	1,000,000	250,000	0	1,000,000	
当期支出計 (C)	12,969,200	11,800,000	11,075,795	1,893,405	
当期収支差額 (A) - (C)	-1,218,700	650,500	1,387,505	-2,606,205	
次期繰越資金 (B) - (C)	6,969,663	5,842,473	8,188,363	-1,218,700	

≪資料9≫ 『学会規約』『理事選挙に関する規程』『会費規則』改定案について

改定趣旨

- ・ 理事会及び常務理事会の組織及び権限と役割を明確化する
- ・ 学会の設立趣旨と目的の理解ならびに本学会の規約の遵守を明確化する

(1) 『学会規約』改定案

- ・ 資格の喪失猶予期間について

2016年9月10日（愛知教育大学）に開催された総会にて以下の学会規約の改定が承認された。2017年3月12日に開催された第2回常務理事会にて会員の資格喪失猶予期間について審議され、会員資格の喪失執行猶予期間として2年間（2016年9月から2018年9月）とすることを提案する。

会員が1300名を越える規模になったが、学会規約第6条第1項に抵触する会員の増加が判明したため、学会の設立趣旨と目的の理解ならびに本学会の規約の遵守を明確にするため規約を明確化する。

改定後	改定前
<p>(資格の喪失) 第9条 会員は、次の各号の一の事由によってその資格を喪失する。</p> <p>(1) 退会の申し出があったとき (2) 会費を3年間滞納したとき (3) 本会の名誉を傷つけ、又は目的に違反する行為や本会の適正な運営・業務を著しく妨げるような言動が行われたときもしくは会員の資格要件を失ったと常務理事会が認めたとき</p>	<p>(資格の喪失) 第9条 会員は、次の各号の一の事由によってその資格を喪失する。</p> <p>(1) 退会の申し出があったとき (2) 会費を長期間滞納したとき (3) 本会の名誉を傷つけ、又は目的に違反する行為を行い、もしくは会員の資格要件を失ったと理事会が認めたとき</p>

会員資格喪失対象者（2017年7月31日現在）

正会員	126名
正会員（院生）	23名
学生	12名
賛助会員（個人）	34名
計	195名

・入会審査について

改定後	改定前
<p>(入 会) 第 7 条</p> <p>正会員、学生会員になろうとする者は、正会員 2 名の推薦を得て所定の入会申込書を提出し、常務理事会の承認を得なければならない。</p> <p>2 正会員はキャリアデザイン学会にふさわしい研究・実務を行っていることを要件とする。</p> <p>3 賛助会員になろうとする個人又は団体は所定の入会申込書を提出し、常務理事会の承認を得なければならない。</p>	<p>(入 会) 第 7 条</p> <p>正会員、学生会員になろうとする者は、正会員 2 名の推薦を得て所定の入会申込書を提出し、理事会の承認を得なければならない。</p> <p>2 正会員はキャリアデザイン学会にふさわしい研究・実務を行っていることを要件とする。</p> <p>3 賛助会員になろうとする個人又は団体は所定の入会申込書を提出し、理事会の承認を得なければならない。</p>

・理事会及び常務理事会の組織及び権限と役割について

改定後	改定前
<p>(理事会) 第 16 条</p> <p>理事会は、会長、副会長、常務理事、理事、事務局長、事務局次長をもって構成し、年 1 回以上、会長が招集し、議長となる。</p> <p>2 理事会は、第 3 条に定める事業の計画及び収支予算並びに収支決算を策定し、総会の議決に基づいて執行の任にあたる。</p> <p>3 理事会は、規約の制定又は改廃について審議する。</p> <p>4 理事会は、会の運営に係る事項に関し、常務理事会に業務を委任することができる。</p> <p>5 理事会の定足数は、委任状を含めて理事の過半数とする。</p> <p>6 理事会の議事は、出席理事の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。</p>	<p>(理事会) 第 16 条</p> <p>理事会は、会長、副会長、常務理事、理事、事務局長、事務局次長をもって構成し、年 1 回以上、会長が招集し、議長となる。</p> <p>2 理事会は、第 3 条に定める事業の計画及び収支予算並びに収支決算を策定し、総会の議決に基づいて執行の任にあたる。</p> <p>3 理事会は、規約の制定又は改廃について審議する。</p> <p>4 理事会は、第 7 条に定める入会に関する審査及び第 9 条に定める会員の資格の喪失要件に関する審査を行い、議決する。</p> <p>5 理事会は、会の運営に係る事項に関し、常務理事会に業務を委任することができる。</p> <p>6 理事会の定足数は、委任状を含めて理事の過半数とする。</p> <p>7 理事会の議事は、出席理事の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。</p>

<p>(常務理事会) 第 17 条</p> <p>常務理事会は、会長、副会長、常務理事、事務局長、事務局次長をもって構成し、必要に応じて会長が招集し、議長となる。</p> <p>2 常務理事会は、理事会の業務を委託を受けて執行する。</p> <p>3 常務理事会は、第 7 条に定める入会に関する審査及び第 9 条に定める会員の資格の喪失要件に関する審査を行い、議決する。</p> <p>4 常務理事会の定足数は、委任状を含めて在籍数の過半数とする。</p> <p>5 常務理事会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。</p>	<p>(常務理事会) 第 17 条</p> <p>常務理事会は、会長、副会長、常務理事、事務局長をもって構成し、必要に応じて会長が招集し、議長となる。</p> <p>2 常務理事会は、理事会の業務を委託を受けて執行する。</p> <p>3 常務理事会の定足数は、委任状を含めて在籍数の過半数とする。</p> <p>4 常務理事会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。</p>
--	--

(2) 『理事選挙に関する規程』改定案

・選挙権・被選挙権について

改定後	現行
<p>選挙権・被選挙権 第 7 条</p> <p>選挙権・被選挙権を有する会員は、選挙管理委員会によって定める時点（選挙年度の理事候補推薦受付前）において、その年度までの規定（本会会員の種別に即した）の会費を全額納入済みの正会員とする。</p>	<p>選挙権・被選挙権 第 7 条</p> <p>選挙権・被選挙権を有する会員は、選挙管理委員会によって定める時点において、その年度までの規定の会費を全額納入済みの正会員とする。</p>

・理事候補の推薦

改定後	現行
<p>理事候補の推薦 第 10 条</p> <p>正会員は、選挙に際し、5 名以内の正会員を理事候補者として推薦することができる。推薦にあたっては、被推薦者の①氏名、②所属または職業、③学会への貢献・キャリアデザインに関わる業績などの推薦理由、の三点を示した推薦文を、常務理事会が別に定める書式にしたがって作成し、選挙管理委員会に提出する。</p>	<p>理事候補の推薦 第 10 条</p> <p>正会員は、選挙に際し、5 名以内の正会員を理事候補者として推薦することができる。推薦にあたっては、被推薦者の①氏名、②所属または職業、③学会への貢献・キャリアデザインに関わる業績などの推薦理由、の三点を示した推薦文を、常務理事会が別に定める書式にしたがって作成し、選挙管理委員会に提出する。</p>

<p>2 選挙管理委員会は、この推薦文を常務理事会に提出する。</p> <p>3 常務理事会は、学会規約に基づいて候補者としての適否を審査し、その結果を選挙管理委員会に通知する。</p> <p>4 選挙管理委員会は、前項の通知に基づき、候補者の氏名、所属または職業のみを記したアイウエオ順の理事候補者名簿を作成し、全正会員に対して配布する。</p> <p>5 第4条の規定にしたがい選挙管理委員、事務局長及び次長は理事候補者を推薦することはできない。</p>	<p>2 選挙管理委員会は、この推薦文を理事会に提出する。</p> <p>3 理事会は、学会規約に基づいて候補者としての適否を審査し、その結果を選挙管理委員会に通知する。</p> <p>4 選挙管理委員会は、前項の通知に基づき、候補者の氏名、所属または職業のみを記したアイウエオ順の理事候補者名簿を作成し、全正会員に対して配布する。</p> <p>5 第4条の規定にしたがい選挙管理委員、事務局長及び次長は理事候補者を推薦することはできない。</p>
---	---

(3) 「日本キャリアデザイン学会会費規則」改定案

改定後	現行
<p>第1条 日本キャリアデザイン学会の会費は以下のように定める。 正会員 年額 10,000円 ただし正会員であっても大学院生は5,000円とする 学生会員 年額 3,000円 賛助会員 個人 年額一口 5,000円 団 体 年額一口 30,000円</p> <p>第2条 特別会員の会費は無料とする。</p> <p>第3条 次年度以後の会費納入を自動振り込みにする場合、会費の1割を割り引く。</p> <p>第4条 会費の改定は理事会が提案し、総会において定める。</p> <p>第5条 以上の会費の他、事業によって臨時に実費を徴収することがある。</p> <p>第6条 <u>正会員（大学院生）ならびに学生会員は年度更新時に、在学証明書を提出しなければならない。</u></p>	<p>第1条 日本キャリアデザイン学会の会費は以下のように定める。 正会員 年額 10,000円 ただし正会員であっても大学院生は5,000円とする 学生会員 年額 3,000円 賛助会員 個人 年額一口 5,000円 団 体 年額一口 30,000円</p> <p>第2条 特別会員の会費は無料とする。</p> <p>第3条 次年度以後の会費納入を自動振り込みにする場合、会費の1割を割り引く。</p> <p>第4条 会費の改定は理事会が提案し、総会において定める。</p> <p>第5条 以上の会費の他、事業によって臨時に実費を徴収することがある。</p>

《資料10》

2018年度研究大会・総会の開催

主宰校：関西大学 千里山キャンパス

日程：2018年9月15日（土）・16日（日）

大阪府吹田市山手町3丁目3番35号

阪急千里線「関大前」駅から徒歩5分

<http://www.kansai-u.ac.jp/global/guide/access.html#senri>



大阪（梅田）からのアクセス

阪急電鉄「梅田」駅から、千里線「北千里」行で「関大前」駅下車（この間約20分）、徒歩約5分。または京都「河原町」行（通勤特急を除く）で「淡路」駅下車、「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車。

京都（河原町）からのアクセス

阪急電鉄「梅田」行で「淡路」駅下車、「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車、徒歩約5分。

地下鉄利用のアクセス

地下鉄堺筋線（阪急電鉄千里線に相互乗り入れ）が阪急電鉄「淡路」駅を経て「関大前」駅に直通しています。

新幹線「新大阪」駅からのアクセス

○地下鉄および阪急電鉄利用の場合

JR「新大阪」駅から地下鉄御堂筋線「なかもず」行で「西中島南方」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「南方（みなみかた）」駅から「淡路」駅を経て「関大前」駅下車（この間約30分）、徒歩約5分。

○JR利用の場合

JR「新大阪」駅から、JR 京都線（東海道本線）「京都」方面行（快速・新快速を除く）で「吹田」駅下車（この間約5分）の後、阪急バス「JR吹田北口」停留所から「関西大学」停留所下車（この間約7分・25分間隔で運行）、徒歩約7分。

－お問い合わせ－

日本キャリアデザイン学会

〒181-0012
東京都三鷹市上連雀 1-12-17
三鷹ビジネスパーク 2号館
ぶんしん出版内

TEL.0422-55-6582 FAX.0422-55-6582

E-mail info@career-design.org

URL: <http://www.career-design>